

第5回 津山市教育振興基本計画検討委員会 会議録【概要版】

○日 時 令和3年11月30日(火) 13:30～15:40

○場 所 津山市役所 202会議室

○出席者

・津山市教育振興基本計画検討委員 8名

委員長 住野好久(中国学園大学・中国短期大学副学長)

副委員長 須江健治(株式会社すえ木工代表取締役社長)

委員 寺元貴幸(津山工業高等専門学校教授)

櫛田晃稜(津山市PTA連合会会長)

仁木かおり(津山教育事務所指導主事)

北山浩二(津山市立中学校長会長)

小池尚(津山市立小学校長会長)

矢野佳子(津山市立幼稚園長会長)

・事務局 教育長、教育委員会関係部課長等 10名

・傍聴 4名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 前回委員会会議録の承認

一 全員賛成 承認

4. 議事

(1) 第3章について

(事務局説明)

- ・第3期計画で新たに出てきた取組や基本目標の柱となる取組を中心に、主な取組内容と目標指標を説明

【2】教育環境の改善・充実

【教育活動を支える環境づくり】

ア. 安全・安心な学校づくり

③新型コロナウイルス感染症対策や各種環境衛生対策

④安全安心に配慮した給食提供と食育センター施設・設備の整備

(委員からの意見)

- ・小中学校の施設整備は、トイレの洋式化等、今の子どもたちの生活スタイルを反映した整備となるよう工夫をお願いしたい。

- ・敢えて和式を残しても良いのではないか。
- ・安全安心対策に、小中学校における施設点検の計画的実施が記載されているが、幼稚園についても言及したほうが良いのではないか。

イ. 良好な教育環境の維持・向上

- ①幼稚園 I C T 環境整備
- ②学校 I C T 環境整備
- ③小中学校の適正規模・適正配置
- ④教職員の働き方改革
- ⑤学校給食費の公会計化及び学校事務の効率化

(委員からの意見)

- ・幼稚園の I C T 環境整備は、職員の研修と合わせてお願いしたい。
- ・小中学校の適正規模・適正配置に関して、目標を数値化するのではなく、基本方針の策定の中での検討にした方が良いのではないか。
- ・中学校の教員は部活動だけで月 40 時間近く拘束され、さらに日々の業務を加えると、月 45 時間以内というのは努力だけではどうしようもない部分がある。
- ・今後の部活動の地域移行に伴う受皿づくりも課題となる。
- ・教職員の働き方改革に係る目標指標は、現実的にはなかなか厳しいのではないか。
- ・先生方の勤務時間の削減は、P T A などの付随する活動も一緒に取り組む必要がある。他の自治体の好事例を取り入れながら、色々な方向から進めていかなければならないと思う。
- ・教職員の働き方改革は、どういうやり方が有効なのか、方法の研究、検証を行った上で取組を進めていくことが重要であると思う。
- ・公会計化という表記は市民の方には伝わりにくく、市が負担してくれると捉える人もいるのではないか。説明を加筆したほうがよい。

ウ. 総合的な連携体制の構築

- ①教育委員会活動の活性化
- ③親（保護者）学講座の推進

(委員からの意見)

- ・教育委員会をもっと身近に感じられる、活動にもっと興味を持ってもらえるように、発信を工夫していただきたい。
- ・学校だよりやホームページにリンクを付けて教育委員会の情報を保護者へ発信する等、学校でも発信の工夫をしたい。
- ・総合教育会議に関する記述があってもいいのではないか。
- ・コミュニティ・スクールや親（保護者）学講座の取組は、ぜひ力を入れて進めていただ

き、目標を達成してほしい。

- ・スマホ利用に関しては色々な危険性もあるため、持たせるのであれば付き合い方をしっかりと家庭で話し合う必要があると思う。
- ・親（保護者）学講座が、学校・保護者・生徒で議論する場となり、講座の中で保護者同士が色々なテーマを通じて繋がり、そこで子育てに関する悩みも共有できるような取組になればと思う。

（２）第４章について

（事務局説明）

- ・第４章の内容を説明

（委員からの意見）

- ・「点検・評価報告書」の公表と同時に、幅広く市民から意見をもらう窓口があればと思う。
- ・幼稚園と小学校のネットワーク環境が無いため、スムーズに繋がる環境があればと思う。
- ・県立学校と市立学校間の接続環境も、セキュリティの問題等があり、課題であると感じる。
- ・支援の重点を明確化し、５番目の項目の見出しを「岡山県等との連携と『主体的な』学校運営への支援」に変更したほうが良い。

（３）意見・指摘事項について

前回の検討委員会でいただいたご意見、ご質問に対する考え方及びご指摘を受け対応した部分を説明。

- ・学力の実態把握（教育データの活用）
- ・発達段階に応じた生活習慣の定借
- ・教育活動を通じた食育の推進と「食べる力」の育成
- ・地域の食文化の継承と魅力ある献立づくり
- ・郷土愛の醸成
- ・子ども観光ガイド育成塾の充実

（４）その他

第６回検討委員会の日程 令和３年１２月２０日（月）１３：３０～

５．その他

今後の策定スケジュールを説明

６．閉会